

スマホで育児の メリット&デメリット

私たちの生活を便利にしてくれるスマートフォン（以下スマホ）。仕事や趣味にとどまらず、その活用の方は育児の世界にまで広がっています。しかし、便利な反面、将来的な依存や危険性も指摘されてるのも事実です。スマホ片手ながら育児をしたり、子守りをスマホに頼りきっていませんか？

『ママKiTa』編集委員が考える

スマホの **①子どもにスマホを渡して、スマホに子守りをさせること**
②自分がスマホばかり見ている、子どもと向き合わないこと

こんな時
便利よね

スマホで子守りの ここが**メリット**!

●家事をしたい時

料理で油を使って手が離せない、
来客で対応しないといけない・・・等

●一息つきたい時

家事と家事の合間にちょっと休憩、
夜泣きで寝不足だから・・・等

●静かにさせたい時

バスや電車の中で泣きやまない、
買い物中に、だだをこねる・・・等
etc...

賢く利用!

スマホでの一時的な子守りは悪いことではありません。時と場所を見極め適切に利用しましょう。また、家事や子守りを家族で分担したり、一時預かりの施設を利用したり・・・改善できる場所は他にもあるかも。

成長が心配...

スマホで子守りの ここが**デメリット**!

●五感が育たない

目や耳、鼻や手足を使って得られる情報がないため、五感が乏しい子どもに・・・

●運動能力の低下

画面ばかり見続け体を動かさないので、視力が低下したり運動能力が向上しない

●依存する(親も子も)

泣いてスマホを要求するように・・・
親はなだめる為に与えてしまう・・・
etc...

触れ合う!

スマホは画面からの情報を与えるだけです。本物を手にした感触や香りなど、五感に働く情報は伝わりません。子どもは実際に体を使った体験を通して成長します。スマホを手にして遊ぶより、子どもの手を取り遊びましょう。

スマホでの子守りは便利だけど、良い点・悪い点があります。スマホ育児のメリット・デメリットを理解し、家庭の状況に合わせたルールを作りましょう。大事なのは「**親も子もスマホが最優先にならないこと**」です。「ママ見て!」と言ってる時の子供の目はキラキラしています。

授乳で座った時くらい、スマホを見ながらゆっくりしたい。
一息つきたい

スマホはいつでも見れるけど、子供の成長の一瞬や何かできた時の表情は一度だけかも。

スマホ所持が当たり前前の時代、育児に活用するのを否定されると、罪悪感がストレスに...

編集委員の 声

お店や病院の待ち時間、あやしても泣きやまない。そんな時にスマホを頼るのはアリだと思う。騒いで周りに迷惑をかけるのは肩身がせいまいし...

ママ達の声から見えてくる実際の育児事情

外遊びは危険がいっぱい。そんな時にスマホ片手だと、思わぬ事故につながるよね。

スマホをいじるのは問題ではない。子供と遊びながらスマホをいじるのが問題。

大切なのは、

「どうつきあってバランスを取っていくか」ね。

乳幼児期の発達課題

乳児期 基本的信頼感を育てる

人を信頼することができるように育てる(人を信頼する感性や感覚は、乳児期に最も豊かに育つ)赤ちゃんがすることは泣くことだけ。人を信頼し、自分に自信をもつためには「望んだことを望んだようにしてもらおう」という経験。この時期に不足すると何歳になっても満たされるまで求め続けます。

幼児期 自律性を育てる

自律性とは自分で自分の衝動や怒り・攻撃などの感情をコントロールすること。自我が芽生え「自分で〜」の時期。排泄など、しつけで自律性を育てていきます。しつけを通して「ダメなものはダメ」と繰り返して伝え、あとは子どもができるようになるのを「待つ」。例えばトイレトレーニング。成功すれば自信がつき、失敗すれば恥ずかしい思いをトレーニング。成功すれば自信がつき、失敗すれば恥ずかしい思いを。また、スーパーで「買って買って」とひっくり返っても買わない。前もって買わない約束をしたり、買わない理由をしっかりと伝え、他に気持ちを向かわせる。すぐには納得しなくても、何度も伝えていくことが大事です。